

～東京湾における船舶へのLNGバンカリング事業化に着手～ 横浜港を母港とする LNG燃料供給船の建造が始まります

横浜市は、2020年に始まる国際的な船舶の排出ガス規制強化に対応するため、横浜港をLNG（液化天然ガス）バンカリング拠点とする取組を、国や横浜川崎国際港湾株式会社（以下、「YKIP」）とともに進めてきました。

このたび、YKIPも参画するエコバンカー SHIPPING株式会社（本社：横浜市、2018年11月設立）が、ジャパンマリンユナイテッド株式会社（本社：横浜市）と、横浜港を母港とするLNG燃料供給船の建造契約を締結しました。

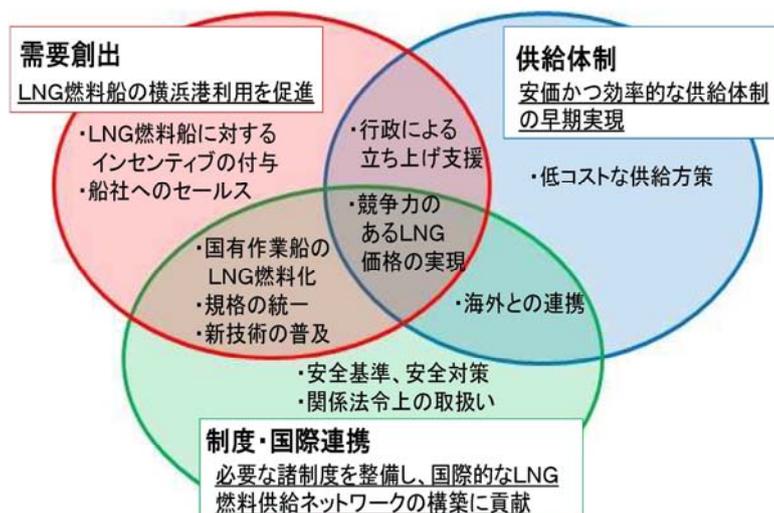
今後、STS方式（※）による、船舶向けLNGバンカリング事業を2020年度中に開始することを目指して取組を進めます。

（※）STS（シップトゥーシップ）方式：岸壁・棧橋に係留中の船舶に対して、バンカリング船が接舷して船舶燃料を供給する手法。

LNGバンカリング拠点整備に向けて

- 船舶の排出ガス規制強化を目前にし、各国港湾の競争が激しくなる中、LNGバンカリングは必要不可欠な港湾機能です。
- 横浜市は、
 - ・LNG燃料供給船の係留場所の提供など、LNGバンカリング事業者のサポート、
 - ・LNG燃料船を誘致するインセンティブ制度の創設
 などの取組を進めていきます。

【参考】LNGバンカリング拠点形成の実現に向けて必要な取組



※平成28年12月「横浜港LNGバンカリング拠点整備方策検討会とりまとめ」より抜粋

「SDGs 未来都市・横浜」の実現に向けた「横浜港」の取組

2018年6月に横浜市が選定された「SDGs 未来都市」では、横浜港の取組を経済面の柱に位置づけています。特に「LNGバンカリング拠点の形成」は、国際的な環境対策であるとともに、横浜港の更なる国際競争力強化を実現する取組でもあります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



スマートで国際競争力のあるみなとの実現

国際競争力の強化と市民生活を豊かにする総合港湾づくり

～「みなと」とともに成長してきた横浜～



LNGバンカリング拠点の形成
・港のスマート化



クルーズ客船受入機能強化



東アジアのハブポート機能強化

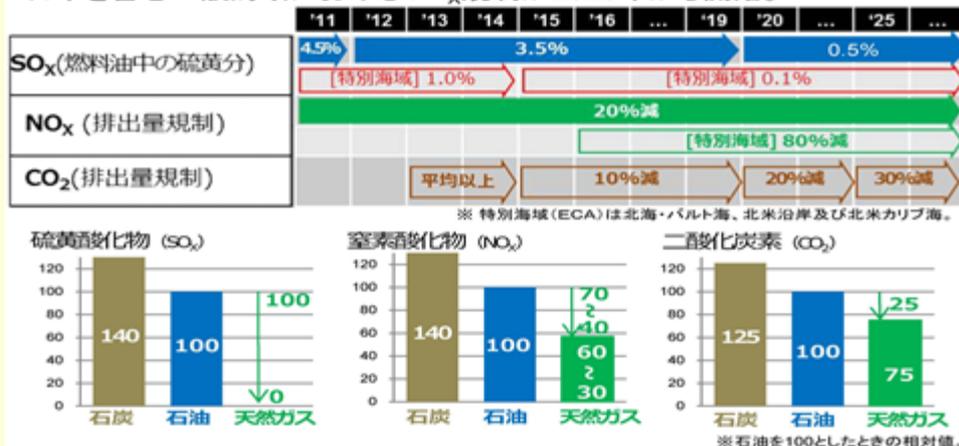


【参考】排出ガス規制の概要

- 船舶からの排出ガスは、「海洋汚染防止条約」(MARPOL 条約)の附属書IVに基づいて、硫黄酸化物(SO_x)、窒素酸化物(NO_x)、二酸化炭素(CO₂)の規制が順次強化されている。
- 平成28年10月に開催された国際海事機関(IMO)海洋環境保護委員会(MEPC70)において、2020年から一般海域での燃料油中の硫黄分濃度の上限値を0.5%に規制強化することで合意されている。

国際的な船舶の排出ガス規制・LNGの環境優位性

日本を含む一般海域におけるSO_x規制が2020年から開始。



※平成28年12月「横浜港LNGバンカリング拠点整備方策検討会とりまとめ」より抜粋

お問合せ先		
港湾局政策調整課長	成田 公誠	Tel 045-671-2877



住友商事株式会社

報道各位



YKIP

UYENO

2019年2月27日

住友商事株式会社

横浜川崎国際港湾株式会社

上野トランステック株式会社

LNG バンカリング船、2020 年度に東京湾で稼働

～東京湾における STS 方式による船舶向け LNG 燃料供給の事業化決定～

住友商事株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員 CEO：兵頭誠之、以下「住友商事」）、横浜川崎国際港湾株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：諸岡正道、以下「YKIP」）および上野トランステック株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役会長兼社長：上野孝、以下「上野トランステック」）（あわせ以下「3 社」）は、3 社の合弁会社であるエコバンカー SHIPPING 株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：中村宗、以下「エコバンカー SHIPPING」）を通じ、ジャパンマリンユナイテッド株式会社との間で LNG バンカリング船（注 1）（以下「本船」）の建造契約を締結しました。

3 社は共同で、東京湾における STS 方式（注 2）による船舶向け LNG 燃料供給事業（以下「本事業」）を検討してきましたが、今般、事業化を正式に決定しましたので、2020 年度中の事業開始を目指して、本船の建造及び運航準備を進めます。

本船は、LNG 燃料（注 3）と適合油（注 4）の供給が可能なアジア初のバンカリング船で、総トン数はそのような仕様のバンカリング船としては世界最大の約 4,100 トンとなる予定です。LNG タンクの容量は 2,500 立方メートル（約 1,500 トンの C 重油相当）で、アジア-北米間の往復航行に必要な LNG 燃料（注 5）を供給することが可能です。また、適合油タンクの容量は東京湾で稼働するバンカリング船としては最大級の 1,500 立方メートルですが、今後の LNG 燃料の需要の伸びに応じて、LNG タンクに切り替える予定です。

2020 年 1 月より全海域を対象に船舶燃料の硫黄分濃度規制が強化され、今後も、パリ協定に基づいた温室効果ガスの排出規制等、船舶関連の環境規制が国内外で益々強化される見込みです。3 社は、エコバンカー SHIPPING を通じて、環境負荷が低い代替船舶燃料の普及と、東京湾が世界の主要な LNG 燃料供給拠点の一つとなることを目指して、本事業を推進します。

（注 1）バンカリング船：船舶燃料供給船のこと。

（注 2）STS（シップトゥーシップ）方式：錨地に停泊または岸壁や棧橋に係留中の船舶に対して、バンカリング船が接舷して船舶燃料を供給する手法。

（注 3）LNG 燃料：硫黄酸化物（SOx）を排出せず、従来の船舶燃料油よりも、窒素酸化物（NOx）は最大 80 パーセント、二酸化炭素（CO2）は最大 30 パーセント

少ない環境負荷の低い代替船舶燃料。

(注4) 適合油：国際海事機関（IMO）が2020年1月より海洋汚染防止条約（MARPOL条約）により強化する船舶燃料の硫黄分濃度規制を遵守した代替船舶燃料油。

(注5) パナマックス型のコンテナ船や自動車運搬船等を想定して試算

<参考資料>

■本船の基本仕様

全長：約 95.57 メートル

全幅：約 15.8 メートル

喫水：約 4.4 メートル

総トン数：約 4,100 トン

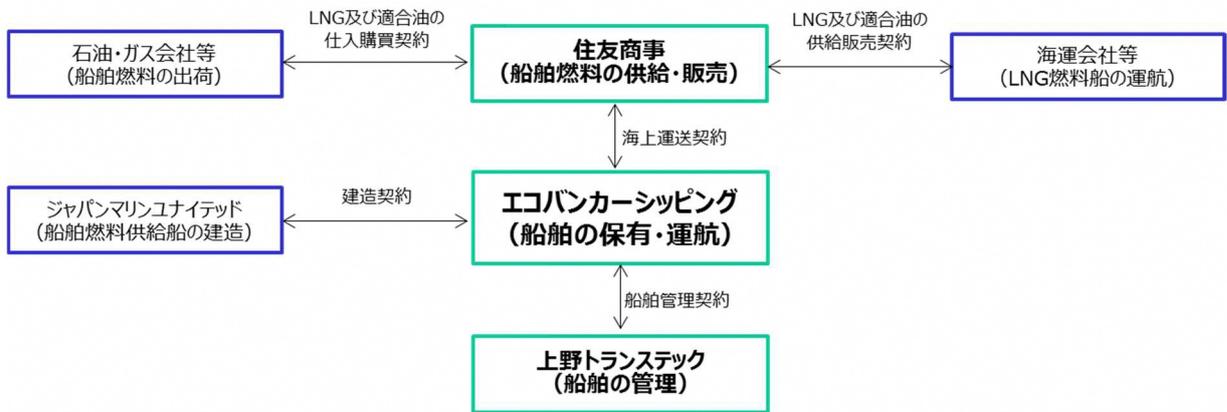
LNG 積載可能容量：2,500m³

適合油積載可能容量：1,500m³

船籍港：横浜港



■事業ストラクチャー



■エコバンカー SHIPPING概要

会社名 : エコバンカー SHIPPING株式会社

株主 : 住友商事、YKIP、上野トランステック

所在地 : 神奈川県横浜市

設立日 : 2018年11月5日



【本件に関する問い合わせ先】

住友商事株式会社 広報部 報道チーム 山脇・風間 TEL : 03-6285-3100

横浜川崎国際港湾株式会社 企画部 杉田・瀬下・中村 TEL : 045-680-6582

上野トランステック株式会社 戦略推進部 日高・新妻・齋藤 TEL : 03-5500-3160